

# 県政報告

# 2026

Vol.13

自由民主党広島県議会議員連盟  
広島県議会議員《呉市選挙区》

54歳

# 坪川たつひろ

建設委員

産業競争力強化・人手不足対策特別委員会委員長

## 連絡先

坪川竜大事務所 〒737-2602 広島県呉市川尻町森2-10-1

TEL(0823)87-2123/FAX(0823)87-6124

自由民主党広島県議会議員連盟

〒730-8509 広島県広島市中区基町10-52 TEL(082)513-4630/FAX(082)228-6587



## ご挨拶

拝啓 皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より私の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。2026年を迎え、広島県は人口減少や地域経済の活性化、防災・減災対策、そして子育て・教育環境の充実など、数多くの課題に直面しております。これらの課題に真正面から取り組み、県民の皆さまが安心して暮らせる広島を築くことが、私の使命であると強く感じております。本年も「現場主義」を貫き、地域の声を丁寧に伺いながら、政策に反映させてまいります。特に、若い世代が将来

に希望を持てる社会づくり、そして高齢者の方々が安心して暮らせる環境整備に力を注いでまいります。

昨年は決算特別委員を拝命し、令和6年度の決算総括審査を行いましたのでご報告させていただきます。

これからも皆さまと共に歩み、広島の未来を切り拓いていく所存です。引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

令和8年1月吉日

## プロフィール

昭和46年 呉市川尻町生まれ  
祖父は坪川蔵之助(元川尻町長)  
父は坪川禮巳(元広島県議会議員、前清水ヶ丘学園理事長)  
平成元年 広島県立広高等学校卒業(40期)  
平成5年 明治大学理工学部工業化学科卒業  
平成5年 ライオン株式会社研究開発本部入社  
平成9年 株式会社 坪川毛筆刷毛製作所入社  
平成21年 呉広域商工会青年部長  
平成25年 呉法人会青年部会長  
平成31年 広島県議会議員 初当選

令和4年 呉市地方港湾審議会委員  
自民大志会が自民議員連盟に合流  
令和5年 2度目の当選  
常任委員会 建設委員会副委員長  
特別委員会 国際平和・多文化共生・人への投資促進特別委員会副委員長  
令和6年 常任委員会 警察・商工労働委員会委員長  
令和7年 常任委員会 建設委員  
特別委員会 産業競争力強化・人手不足対策特別委員会委員長  
広報委員



11月 決算特別委員会に登壇

スマホでピッ

11月20日

定例会の様子は

<https://www.youtube.com/watch?v=-uxzsPuj40c>



# 令和7年度 決算特別委員会 (令和6年度)

## 【知事】

生成AIをはじめとしたテクノロジーが急速に進化する中、デジタルネイティブである若者こそが、時代の最先端で活躍する可能性があり、早い段階から実社会における挑戦の場をつくるのが重要である。

このため、県立高等学校では、総合的な探究の時間等において、デジタル機器を活用した探究活動に取り組んでおり、特に、国のDX加速化推進事業の指定を受けた学校では、デジタル関連企業の見学やワークショップなど、地元企業等の先進的なデジタル技術に触れる機会を通して、より実践的な学びを推進している。

また、産学官連携により実施しております「ひろしまAI部」におきましても、高校生が企業の現場体験を通じて、実社会におけるデジタル活用の実態を学び、若手社員の伴走支援を受けながら、AI活用による課題解決を目指して、探究活動を行っている。

加えて、県内の高等教育機関では、理工系の情報学部・学科の設置が進んでおり、令和9年度以降には、約千人のデジタル人材が毎年広島から輩出されることになる。

このため、県内就業を返還免除の要件とした情報系の学生に対する奨学金の貸付を令和5年度から開始するとともに、インターンシップや就活イベントなどを実施して、高校から大学まで連動したデジタル人材の県内定着を図っている。

このように、高校生の段階から、地域産業のリアルに触れ、企業と一緒に課題解決に取り組む経験を通じた人材育成をより一層進めるとともに、若者の主体的な進路や就職の選択を後押しし、広島でやりたいことにチャレンジでき、自己実現を図れる道筋をつくってまいりたい。

## 1 デジタル人材の育成について

### 【坪川】

**デジタル人材を育成し、県内企業への就職につなげるためには、このような機会を捉え、地元企業と連携することで就職先として意識してもらえるのではないかと考えるが、特にデジタルのような成長分野において、地元企業との連携について、どのように取り組んでいるのか？**

今月10日、政府では「日本成長戦略会議」の初会合が開かれ、官民連携での投資促進及び総合経済対策に盛り込むべき重点施策(案)の議論が行われました。「危機管理投資」「成長投資」による強い経済の実現には、その分野における大胆な投資促進、国際展開支援、人材育成、産学連携、国際標準化といった多角的な観点からの総合支援が必要であるとされている。

また、これまで国では、労働力人口が減少する中、付加価値の高い理工系の人材を育成するため、「理工系人材育成戦略」や「産学官行動計画」を通じて、戦略的に推進し、産業界との連携や博士人材の活躍支援を行ってきました。

県におきましても、デジタル等成長分野を支える人材育成の強化を図ることを目的に、高等学校デジタル人材育成強化事業や、産学官と連携して高校生を対象にAIを理解し、活用する力を身に着ける教育プログラム「ひろしまAI部」に取り組むなど、高校生の段階から、デジタル人材を育成する取組が進められている。



10月 決算特別委員会部局別審査にて質問

### 坪川要望

**こうした早い段階から育成されたデジタル人材が県内企業へ就職し、活躍するためには、高校生で学ぶ段階から、地域の産業を知り、地元への愛着を持つことで、将来、県内企業への就職志望者の増加につながるのではないかとと思うので、しっかりと地元連携を行っていただきたい。**



呉千年会総会にて祝辞

# 特別委員会 総括審査)

## 2 大学生の県内就職対策について

### (1) 県内外の大学生への地元企業のRPについて

【坪川】

「就職」を理由とした転出超過の原因として、広島県の企業情報が大学生に十分に伝わっていないのではないかと考えますが、県内外の大学生に対する地元企業のPRについて、これまでどのような取組が行われ、そして、何を課題と認識されているのか、また、その課題を踏まえて、今後、どのように取り組んでいくのか？

令和6年度の県内大学生の県内就職率は目標51.3%に対し46%、関東関西地方からのU・Jターン就職率は目標42%に対し32.2%、中四国九州地方からのU・Jターン就職率は目標67.8%に対し59.6%と、いずれも目標は達成しておらず、就職先として広島県が十分に選ばれていない現状がある。

これまでも転出抑制や転入促進のための県内就職促進対策が様々行われてきたところですが、20~24歳の「就職」を理由とした転出超過は続いている状況である。

【商工労働局長】

希望する業種や働き方ができる企業が県内にあるにもかかわらず、若者に認知されていないという実態が若年層の転出超過の要因の一つとして考えられることから、これまでも県内外の大学生等に対する県内企業の認知向上に取り組んできた。

具体的には、高校や大学1、2年生の就職活動前の早い段階から、県内企業による出前講座や、県内外の大学と連携した業界研究講座等により、県内企業を知る機会の拡大を図るとともに、県の就活応援サイト「Go!ひろしま」や公式LINEを通じて就職活動に役立つ情報を継続的に発信してきた。

さらに、県内企業で働く若手社員を学生にとって身近なロールモデルである「ひろしま就活サポーター」として任命し、サポーターを通じて、広島で働くことの魅力発信の強化を図ってきた。

一方で、コロナ禍を機に特に県外大学生に対して、対面による接触が減少したことなどから、公式LINE

E登録者に占める県外大学生の割合は約2割に留まっており、県外大学生の登録拡大と情報発信の充実が課題と考えている。

このため、今後はこれまでの取り組みに加え、県外大学のキャリアセンター等とのより強固な関係構築を図るほか、県外大学生のニーズに応じたコンテンツの充実や、県内外で県内企業との交流イベントを実施することで、県内企業への理解を深め、広島で働きたいと感じる学生を着実に増やしてまいりたい。

【坪川要望】

「知らない=魅力がない」と感じがちですが、広島県に優良企業が多数存在しているということ県内外の大学生にしっかりPRしていただき、就職先の選択肢に加えてもらえるよう、取り組んでいただきたい。

### (2) 県内就職の促進について

【坪川】

就職支援のアプローチの仕方を間違えると効果がない取組になってしまうと思うが、大学生のニーズをどう捉えているのか、また、今後どうやって県内就職率を上げ、就職に伴う若者の転出超過数を縮小していくのか、その対策については？

転出抑制や転入促進のためには、就職や転職といった仕事を選ぶ際に、いかに広島が選ばれるかが重要であると考えている。

一方、令和6年度に、新規事業で東京圏からのU・Jターン就職を促進するため、学生の就職活動に係る交通費の支援が行われましたが、執行額はわずか12千円となっている。

経済的支援も必要だと思いますが、最近は、企業が独自で行う経済支援もあると聞いている。

【商工労働局長】

就職に関する大学生のニーズについては、昨年度実施いたしました若年層の社会減少要因調査分析において、給与等の待遇や自己の成長を重視する「成長志向重視型」、自分の適性を生かすことを重視する「業務分野・適正重視型」、職場環境を重視する「安定・ワークライフバランス重視型」など多様化傾向にあることを把握した。

この調査の分析を踏まえ、「成長志向重視型」の学生に対しましては半導体関連産業等の集積や、ひろしまユニコーン10プロジェクトを始めとするスタートアップ支援など、成長志向の若者を惹きつける産業の創出に取り組んでいる。

また、「業務分野・適正重視型」は、大学での専攻を生かして働きたい学生が多いことから、県内企業のインターンシップ・プログラムの充実や、その情報発

信を支援することで、学生が希望する分野の仕事体験を提供している。

「安定・ワークライフバランス重視型」は、就職活動の終盤まで職場環境や働き方にこだわり、就業先を決定する学生が多いことから、面接官や、内定者の悩みに寄り添うメンターを育成する企業を支援することで、学生が就職活動中に、社風や職場の人間関係などを感じられるよう、取り組んでいる。

こうした取組により、県内企業への興味・関心を促すとともに学生の働き方や職場環境に対する納得感を高め、県内企業が就職先に選ばれるよう後押ししてまいる。

### 坪川要望

**せっかく地元企業のPRが出来たとしても、就職支援のアプローチの仕方を間違えると効果がなく、広島が選ばれない結果になってしまうと危惧している。とにかく学生目線で支援をしていただき、転出超過の改善及び転入促進につなげていただきたい。**

## 3 水産振興について

### (1) 牡蠣のへい死の対策について

【坪川】

**県として、今後、かき養殖業者に対して、対策を行っていく考えがあるのか？**

広島県では、呉市において、平成19～28年度にかけ、10年間連続で市町村単位の牡蠣むき身生産量日本一となっており、県全体でも年間約2万トンのむき身牡蠣を養殖生産している。

しかしながら、今年2月には海水温の上昇が原因とみられ、宮島の牡蠣が大量にへい死し、かき祭りが中止になるなど、牡蠣の生育不良は深刻な問題となっている。

10月20日から養殖牡蠣が解禁となった以降も、牡蠣が約8割へい死しており、11月12日には広島県漁業協同組合連合会並びに対象地区の漁業協同組合からも対策を求める要望が、私が所属する水産振興議員連盟に届いているところである。

このままでは、かき養殖業者にとっても、日本一の牡蠣生産量を誇る広島県にとっても大きな打撃を受けることになる。

【農林水産局長】

今年度のかきのへい死状況につきまして、すでに出荷を開始しているかき生産者などから聞き取り調査を行ったところ、被害の深刻な生産者からは、呉市から東側の海域で3年間養殖したかきにおいて、通常3割から5割程度のへい死割合であるところ、7割から9割程

度のへい死が確認されている。

現地点では、全生産者で出荷が始まっておらず、引き続き、状況の把握を行いながら、被害の深刻な生産者への支援や、へい死リスクの低減に向けた対応を早急に検討する必要があると考えている。

このため、現地に出向いて、生産者から被害の状況や意見をしっかりと聞きながら、短期的な対策として、大量へい死による減収により、経営に支障をきたす生産者に対して、生産の継続に必要な支援を検討してまいりたい。

また、中・長期的には、各地域の養殖方法や養殖環境を正確に把握し、大量死が発生した原因を詳細に分析するとともに、科学的なデータに基づく生産管理の推進や高水温に対応した養殖技術の検討などへい死防止対策に取り組んでまいる。

こうした対策によりまして、**かき生産者が経営を継続することができるよう、支援してまいる。**

### 坪川要望

**喫緊の対策に加え、養殖牡蠣の品種改良について、成育環境の変化に耐える新たな養殖技術の確立に向け、研究体制を構築していただきたい。**

#### 要望から実現

令和7年12月定例会において

- かき養殖業経営体への運転資金の融資に対する利子補給
- かきのへい死の原因分析
- かき養殖業経営体における再生産の対象経費に対する支援

### (2) 水産資源の回復について

【坪川】

**本県漁業を持続可能なものとするためにも、瀬戸内海全体の水産資源の回復に積極的に取り組むべきと考える。今後どのような対策を行っていくのか？**

牡蠣だけでなく、水産資源全体の減少については、瀬戸内海の貧栄養化が問題ではないかと考えており、令和4年9月定例会の一般質問において、瀬戸内海を豊かな海にするため、栄養塩類対策にスピード感をもって取り組むべきと要望したところである。

これまで県で行ってきた栄養塩類対策については、栄養塩類の増加と水産資源の回復との関連性が確認されていると伺っている。

【農林水産局長】

瀬戸内海の水産資源の減少については、資源よりも漁獲が多いこと、藻場などの減少や、海底の貧酸素など漁場環境の悪化、海水中の窒素などの栄養塩の不足などが大きく影響しているものと分析している。

資源よりも漁獲が多いことに対しては、カタクチイ

ワシなどで導入が進んでいるTAC管理制度を他の魚種にも導入し、資源管理をしていくことや、種苗放流など資源増加の取組を一体的に進めてまいる。

漁場環境の悪化に対しては、計画的な藻場の造成に加えて、海底耕うんの拡大により、餌となる生物の増加と、海底の貧酸素の改善を図ってまいる。

また、栄養塩類の不足に対しては、現在、実施している下水処理施設における能動的運転管理の実証試験の結果を早期に取りまとめるとともに、関係市町が管理する下水処理施設にも協力を働きかけることで、より多くの施設が能動的運転管理を実施する栄養塩類管理計画の策定に向けて、着実に取組を進めてまいる。

これらの資源増大の対策により、魚が獲れる海的环境を作り、育て、水産資源の回復を図ってまいる。

#### 【坪川要望】

海底耕うんの対策も海を豊かにするためには有効であることが確認されており、このように成果が上がっている調査や対策を調査対象区域だけでなく、範囲を広げて、積極的に行っていただきたい。

## 4 内部統制制度について

### (1) 重大な不備の発生原因について

【坪川】

重大な不備が発生するたびに、要因分析を行い、その結果を踏まえた再発防止策に取り組みられていると認識しているが、残念ながら、毎年一定数発生している状況である。このような重大な不備が依然発生している根本的な要因は何であると考えているのか？

地方自治法改正により、令和2年度から都道府県等に内部統制制度の導入が義務付けられ、広島県では、「広島県の内部統制に関する方針」を策定し、コンプライアンスの徹底及びリスク管理に基づき、ガバナンス機能の充実を図ってきたところである。

しかしながら、県議会の議決を欠いた物品購入契約や入札における設計金額の漏洩、また、直近においては、令和5年度には予算を超過して執行した事案、令和6年度には占用料の減免申請書について不適正な文書管理をした事案など、運用上の重大な不備が毎年発生している状況である。

【総務局長】

令和2年度に導入いたしました内部統制制度であるが、これまで5年間、毎年重大な不備事案が発生しており、県行政や県職員に対する信頼を著しく損ねたものであると大変重く受け止めているところである。これらの重大な不備事案が発生した原因として、過失に起因するものや故意によるものなどがあり、必ずし

も一様ではないが、個々の職員のコンプライアンスの問題等に加え、組織的なチェック機能が十分に発揮されていない状況もあると考えている。

### (2) 不適正な事務処理を発生させない抜本的な業務改善について

【坪川】

職員の意識改革に加え、AIなどデジタル技術を活用した業務の進め方に見直すなど、今までとは違う抜本的な業務改善策が必要ではないかと考えますが、今後、どのように取り組んでいくのか

これまでも重大な不備を含む不適正な事務処理が発生した際には、再発防止策として、チェックリストの追加やマニュアル整備等その都度行われているが、その事案だけ個別に対策をとる方法では、根本的に不適正な事務処理はなくなるのではないか？

— 時間切れのため答弁は無し —

## 建設委員会 坪川質問

令和7年7月18日

スマホでピッ

虚偽文書作成に係る調査状況について

<https://www.youtube.com/live/buJwsBOYQtM>



令和7年8月19日

スマホでピッ

社会資本未来プランの見直しについて

<https://www.youtube.com/live/w3plK8ifog>



令和7年9月25日

スマホでピッ

下水道管路の全国特別重点調査について

<https://www.youtube.com/live/3mPwQ1W6Gu4>



令和7年11月19日

スマホでピッ

虚偽文書作成に係る調査状況について

<https://www.youtube.com/live/s0rEFMYxK6s>



## 令和7年 12月定例会

●物価高騰・米国関税措置への対応 ●県土強靱化

### 要望から実現

- 冬期の安心・安全のため安芸灘大橋に「温度計、風速計」を設置（令和8年度）



- 令和7年9月30日「広島県障害者による情報取得及び利用並びに意思疎通に懸かる施策の推進に関する条例」及び「広島県手話言語条例」制定

# Activity 坪川たつひろの活動



3月 れんがどおりイベントにて祝辞



3月 呉市合併20周年記念行事



4月 春の交通安全開始式



4月 野呂山山開きにて祝辞



4月 行政書士会呉支部総会にて祝辞



5月 呉南特別支援学校創立10周年記念式典にて祝辞



5月 呉市食品衛生協会総会にて祝辞



5月 呉本通商店街振興組合総会にて祝辞



5月 坪川電大 県政報告会



6月 呉飲食組合総会にて祝辞



6月 呉市による知事要望



6月 呉市戦没者戦災死者慰霊式にて追悼の辞



7月 呉ポートピア25周年誕生祭にて祝辞



8月 呉昭和高校同窓会にて祝辞



8月 広高校同窓会にて挨拶



9月 呉平谷線工事現場を視察



9月 野球大会にて始球式



9月 敬老会にて祝辞



10月 横田元広島県副知事と現地調査



10月 野呂山グランドヒルクライム大会にて祝辞



11月 呉市わんりんスポーツ大会

SNSで日々の活動を配信中!



坪川電大 公式 | 検索

坪川電大 公式 | 検索